

平成 20 年度《鎌倉世界遺産登録推進協議会》総会◇報告 昨年度事業報告と今年度事業計画を承認



総会の座長を務める養老孟司会長(右)。左は井出太一副会長。

世界遺産登録に向けたスケジュール変更と平山郁夫氏の特別顧問就任の報告に先立ち、総会の議題として、平成 19・20 年度の推進協議会活動に関する事項が提案されました。

養老孟司会長（東京大学名誉教授）が座長となって議事が進められ、提案された議題の全てが承認されました。

◎ 平成 19 年度事業概要報告

平成 19 年度に本推進協議会が実施した事業の概要について、内海恒雄広報部会長から報告がなされました。

平成 19 年度は、登録推進事業部会、広報部会を中心に、マップ作成委員会や様々な事業を企画・立案・実施する実行委員会が組織され、7つのイベント事業（美術・写真コンクール、ワークショップ、武家の古都・鎌倉塾の開催、シンボルマークの公募等）、6つの広報活動事業（会報や武家の古都・鎌倉マップの発行、パブリシティの促進等）、4つの

その他事業（鎌倉まつりやビーチフェスタへの参加）が実施されたことについて、説明がなされました。

◎ 平成 19 年度監査報告

本推進協議会の平成 19 年度決算に係る監査について、深山照世監事（鎌倉市民生委員児童委員協議会理事）から、平成 19 年度事業概要報告書、収支決算書及び会計帳簿等の関係書類を照合した結果、適正に処理されている旨の報告がなされました。

◎ 平成 20 年度事業計画

平成 20 年度に実施が予定されている本推進協議会の事業概要について、奴田不二夫登録推進事業部会長から説明がなされました。

平成 18 年 7 月に発足し、様々な機会を捉えてこれまで行われてきた普及啓発活動の結果、鎌倉が世界遺産登録に向けた取り組みを進めていることについては、市民各層に対して一定の周知が図られ、大きな成果を上げているという考えが示され、今後も積極的に周知を図っていく一方、鎌倉が世界遺産登録をめざすことの意義や目的を、正確に分かりやすく伝え広めるための活動が重要となる旨の方向性が示されました。

また、平成 20 年度の予定としては、昨年度実施し好評を得た事業を継続して行うとともに、新たな啓発事業が提案されました。

【鎌倉世界遺産登録推進協議会 平成 20 年度事業計画】

事業区分	主催事業	共催事業（総会時点での予定事業）
イベント （市民参加型）事業	1 世界遺産登録啓発美術・写真コンクール 2 武家の古都・鎌倉塾の開講 3 鎌倉まつりへの主体的な参加 4 市民フォーラム（ワークショップ）の開催	1 鎌倉の世界遺産登録を「アートで後押し展」 2 「鎌倉の世界遺産登録をめざす市民の会」シンポジウム 3 鎌倉世界遺産登録推進に向けての中学生作文コンクール 4 百貨店等での展示会 5 市内県立 4 校との連携による講演会の開催
広報活動事業	1 会報「武家の古都・鎌倉ニュース」の発行 2 出版物（マップ・ガイドブック等）の制作・発行 3 江ノ電スキップ号への中吊り広告の掲示 4 ビデオ等の制作 5 掲示等の促進 6 パブリシティの促進 7 グッズの製作・販売・配布	
その他事業	1 総会の開催 2 活動資金確保に向けた取り組み 3 市民活動フェスティバルへの参加 4 各種展示会への参加	